

## 医療の未来と共に

少子高齢化による人手不足と医療費の増大、感染症などさまざまな課題が顕在化し、医療のあり方が見直されています。私たちシップヘルスケアグループは、「生命を守る人の環境づくり」を追求することで医療の未来と共に持続可能な社会の実現へ貢献します。

注力アクションテーマ

地域包括ケアシステムの推進

医療アクセスの向上

医療機関のBCP・災害対策の強化

持続可能な医療提供体制の構築

先端技術の普及・患者様のQOL向上



## 地域包括ケアシステムの推進

諸外国に例を見ないスピードで少子高齢化が進む日本では、医療・介護需要がますます増加し続ける見通しです。人々が健康に暮らし、誰もが最良の医療を受けられる環境を提供し続けるため、当社グループの多様なリソースとノウハウを最大限に活かし、地域のより良いヘルスケアシステムの構築に貢献します。

### 地域医療強化のための再編統合プロジェクトへの協力

当社グループは30年以上にわたり、全国の医療機関の新設・リモデルのコンサルティングから開業後のサポートまで一貫して「生命を守る人の環境づくり」を続けてきました。そこで培ったノウハウを活かして、地域の医療機関・介護施設や薬局、その他暮らしを支えるさまざまなステークホルダーと連携し、地域包括ケアシステムを推進していくことが、私たちの使命だと考えています。これは一つの成功事例で完結するものではなく、地域の特性に寄り添いながら、中長期的な視点で柔軟に対応していくべきものです。当社グループはこれまで、さまざまな地域で医療機関の再編統合プロジェクトに携わってきました。これらの実績を活かし、持続可能かつ強い地域医療を構築するため、引き続きグループの総力を挙げて社会のニーズに応えてまいります。

KPI	TPPプロジェクト件数		
	2020年度	2021年度	2022年度
	33件	35件	42件

#### 地域医療強化に向けた長期・大型プロジェクトの事例

##### 岡山県 津山中央病院様

2000年に本館を新築移転して以来、中四国地方初となるがん陽子線治療センター設置や最新鋭の手術室の増築など、20年以上にわたって病院づくりを支援しています。



### 調剤薬局での在宅医療の推進

当社グループでは、現在123店舗(2023年3月末現在)の調剤薬局を運営しており、医師や看護師による訪問看護ステーションや、個人宅などへの往診に同行して服薬指導を行う往診同行・在宅調剤など、他職種連携に力を入れています。また、調剤薬局の営業時間外にも患者様のご相談に対応したり、「おくすり相談会」などの地

域活動を実施。地域のヘルスケア機能の連携によってチームで患者様を支える包括ケアシステムの実現に積極的に取り組んでいます。

KPI	在宅・施設対応患者数		
	2020年度	2021年度	2022年度
	6,070名	6,290名	6,400名



## 医療アクセスの向上

シップヘルスケアグループの総力を結集したサービスとソリューションで、世界を舞台に「生命を守る人の環境づくり」に邁進し、誰もが最良の医療を受けられる環境づくりに貢献します。

## 医療機関の BCP・災害対策の強化

医療が最も必要とされる時、人々の生命を守る現場をいかに支え、医療を止めない環境をつくることができるか。「生命を守る人の環境づくり」を実践する当社グループは、医療機関のBCP構築を重要な使命と認識しています。

### BCPに配慮した病院づくりの提案

非常時でも医療や介護の継続性を守るため、私たちはこれまでの病院づくりプロジェクトの中でさまざまな施策を提案してきました。

#### 災害に強い医療ガス供給システム

医療機関において、医療ガス供給システムは治療行為に不可欠なものです。医療ガス国内トップシェアを誇るグループ会社の株式会社セントラルユニは、施設の上階に設置できるよう、省スペースに設置可能な医療ガス供給システム「CUBE」により、水害や災害などの非常時でも供給を維持できるユニットを提供しています。



加えて、災害時の病床不足に備えて、災害対策アウトレットカート「EMOCA」を開発。院内や廊下等に設置された災害用アウトレットから最大3台を連結して酸素・吸引・電源を供給することができます。



災害対策  
アウトレットカート  
「EMOCA」  
(連結イメージ)

### 介護施設のBCP対策

ライフケア事業で展開する介護施設では、現在、約4,500人の方にご入居いただいています。私たちの責務は、入居者様及びそのご家族の皆様にご安心してご利用いただけるサービスを、いかなる時も継続することです。当社グループの介護施設では、震災やコロナ禍の経験を踏まえ、ハザードマップをもとにしたBCP策定や備蓄食の確保、非常用電源の整備などを進めており、責任ある介護施設の運営に努めています。



当社グループ運営の介護施設例  
(グリーンライフ守口)

## 24 持続可能な医療提供体制の構築

医療の質と効率性を両立した環境の整備は喫緊の課題であり、当社グループが力を尽くすべき取り組みです。地域包括ケアシステムや在宅医療を含む柔軟な医療提供体制の構築、医療従事者の皆様の働き方改革、感染症対策の徹底、社会保障費や医療資源の効率活用など、多岐にわたる課題に注力しています。

### PB商品展開による安定的な材料供給

多くの医療系専門商社を有する企業集団である当社グループは、国内で大規模な医療機器・設備や消耗品の供給網を確立しており、その商流を活かしたプライベートブランド(PB)商品の開発・販売にも取り組んでいます。2020年、新型コロナウイルス感染症がまん延し、世界的にマスク不足に陥った中、医療現場へ高品質なサージカルマスクを安定供給するため、衛生用品製造機械メーカーとともに国産にこだわった高品質の「SHIPマスク」を発売しました。今後も社会のニーズにお応えするPB商品の拡充を通じて「生命を守る人の環境づくり」に貢献してまいります。



KPI	PB商品ラインナップ
2023年3月末	3商品
	<ul style="list-style-type: none"> <li>低濃度オゾン発生装置 Airness(エアネス)</li> <li>サージカルSHIPマスク</li> <li>大人用紙オムツ SHIPパートナーplus</li> </ul>

### 自動倉庫の運用 (大阪ソリューションセンター)

多くの人手と時間がかかる医療材料のピッキングや出荷管理。業界で初めて自動物流設備・ITを駆使したロジスティクスセンターを整備し、作業者の負担軽減、在庫効率・生産性の向上を実現します。



無人搬送車(AGV)

特集02 大阪ソリューションセンター ▶▶ p.10

### RFIDを用いたSPDシステムの運用

医療材料は使用期限を厳格に管理する必要があるうえ、取り扱い品目が極めて多く、各品種の納入量が必ずしも多くないという特徴があります。また、一包あたりの納入数やパッキングの方法を納品先となる各医療機関のニーズに応じて管理することが必要であり、注文の入った医療材料を手作業でピッキングする場合、担当者の熟練度により業務理解や時間に差が出たり、ヒューマンエラーが起こってしまうという課題がありました。

そこで大阪ソリューションセンターでは、業界で初めてすべての材料に小分け単位でRFIDタグを貼付し、「24時間常時棚卸し」の管理を実現。RFIDを読み取りながらピッキング情報をチェックすることで、オペレーションの効率化に加え、誰でも正確に作業することが可能になりました。今後も先進技術を駆使した革新的な取り組みで、医療現場のニーズに応え続けていきます。



RFID棚での  
24時間常時棚卸し



RFIDラベル  
自動貼付システム

## 先端技術の普及・患者様のQOL向上

日進月歩で発展する医療技術の普及には、行政や医療機関のみならず民間企業の協力が求められています。誰もが最善の治療を受けることができる環境づくりを支援し、先端技術の発展と、患者様のQOL向上に貢献していきます。

### 大阪重粒子線センターの運営

大阪市の中心地で重粒子線がん治療施設「大阪重粒子線センター」を運営しています。日本が独自で研究を進めてきた重粒子線を用いたがん治療は、今まで治療が難しかった部位の治療ができることに加え、従来の放射線治療に比べてがん細胞周辺の正常組織への影響が少ない治療法。治療回数や副作用が少ないため、働きながらがん治療を行うことも可能です。現在、重粒子線治療を受けられる施設は日本に7箇所ありますが、「大阪重粒子線センター」は6番目の施設であり、初めて民間が主導する治療施設でもあります。



重粒子線を作り出す加速器 (シンクロトロン)

2018年の開院以来、2,991例(2023年3月末時点)の重粒子線治療を開始しており、治療実績は年々伸びています。今後も誰もがQOLを保ちながらがんを身近に治療できる環境を提供し続けるため、当センターの安定的運営に努めています。



大阪重粒子線センター(大阪市)



## Society 地域の未来と共に

シップヘルスケアグループは、創業以来、ボランティア清掃活動や公共設備の維持管理など地域活動に力を入れてきました。企業市民として、地域への感謝を忘れず地域創生に資する取り組みを続けてまいります。



## 地域社会との共生、市民の健康増進

### 官民連携、地域に根差した事業の推進

当社グループの本社がある大阪府吹田市は、千里丘陵の豊かな緑や文化施設のほか、医療機関や大学などの学術研究環境、大阪都心部にほど近い便利な生活環境が整い、自然と文化が共生する街として知られます。地域の自然環境を守り、さらに魅力溢れる地域をつくるため、当社グループは吹田市初のPark-PFI事業※として本社周辺に位置する江坂公園(吹田市立江坂図書館含む)と桃山公園の2つの公園の魅力向上事業を受託しました。両施設がリフレッシュした2023年4月にはリニューアルオープンイベントを行うなど、地域の活性化につながる活動が本格始動しています。

地元根付く企業として、健やかでにぎわいのある街づくりを推進し、地域の皆様と共に良く生きる社会「Well-being」の実現を目指していきます。

※Park-PFI:2017年の都市公園法の改正で創設された、民間事業者による公共還元型の収益施設の公募設置管理制度のことをPark-PFIと呼び、飲食店、売店などの公募対象公園施設の設置などから、生じた収益等を活用して、公園整備や施設のサービス向上、自治体の財政負担の軽減を可能にした制度。



桃山公園(新設したパークセンター)



江坂公園



江坂公園 リニューアルオープンの様子

### 市民参加型イベントの積極推進

2022年5月、読賣テレビ放送株式会社が国立研究開発法人国立循環器病研究センター、公益財団法人循環器病研究振興財団と共催するチャリティイベント「健活!チャリティ・ウォーク」に協賛しました。市民の方々の健康増進や地域の魅力発見に資する活動を今後も積極的に推進していきます。

### 介護施設を中心とした地域創生



© 23 SANRIO CO., LTD.  
APPR. NO. L640872

グループ会社のグリーンライフ株式会社では、株式会社サンリオのキャラクターを活用した施設の装飾や車両のラッピング、ノベルティ等が入居者様やご家族から好評いただいています。介護サービスのイメージアップを通して、地域の多世代交流の推進、地域創生のきっかけづくりに貢献しています。

### 清掃・緑化活動など地域を守る活動の推進

大阪府が主催する「アドプト・プログラム」に参画しています。これは、地元の自治会や企業等の団体が、道路の清掃・緑化や街灯など公共設備の維持管理に協力する活動です。地域との協働によって、美しい景観と安心・安全な街づくりを推進していきます。



本社屋に掲示している  
アドプト・プログラムの看板